

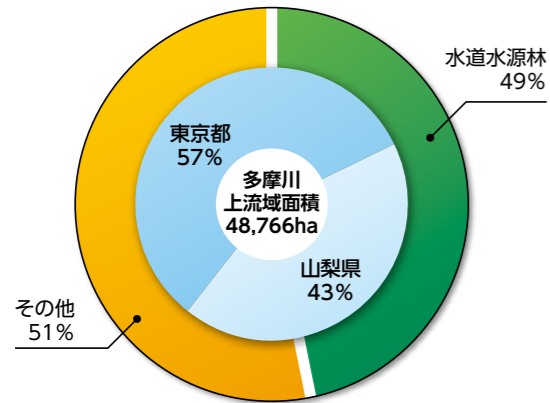
1 水道水源林の広がり

東京独自の水源である多摩川は、山梨県にその源を発し都内を流れ、東京湾へと注がれます。

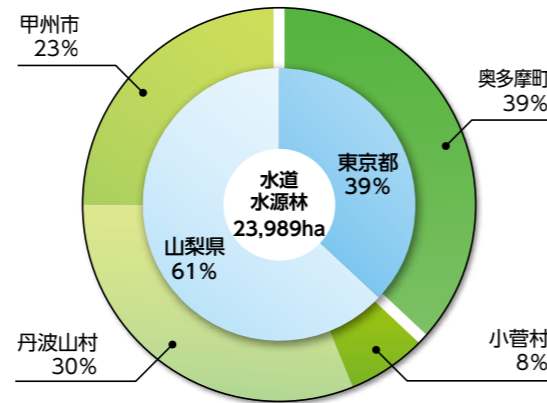
東京都水道局は、この多摩川の安定した河川流量の確保と小河内貯水池(奥多摩湖)の保全を図るため、羽村取水堰より上流の多摩川流域に広がる森林を水道水源林として1901年(明治34年)から管理しています。

水道水源林は、東京都の奥多摩町、山梨県の小菅村、丹波山村及び甲州市にまたがっており、その範囲は東西約30.9km、南北約19.5km、面積は約24,000haに及んでいます。

これは、多摩川上流域に広がる流域面積の約5割を占めており、国内の水道事業者が管理する森林としては最大規模となっています。



多摩川上流域に占める水道水源林の面積 (平成31年4月1日現在)



水道水源林の所在地別面積 (平成31年4月1日現在)



小河内貯水池と水道水源林



多摩川上流域位置図 (平成31年4月1日現在)

水道水がお客様の元に届くまで



村山下貯水池

